

4月チャブレンだより

「大丈夫だよ」

ある若いお父さんのお話です。

お父さんが、夜遅く、仕事から帰ってくると、寝ている赤ちゃんが、わんわん泣いていました。お父さんは、「大丈夫だよ」と声を掛け、泣いているわが子の手を、人差し指を差し出しました。お父さんの指が赤ちゃんの手に触れた瞬間、赤ちゃんの小さな手は、そのお父さんの人差し指をきゅっとにぎり、すぐに泣きやみ、すやすやと眠りにつきました。お父さんは、わが子の寝顔を見て安心しました。

子供のいる家庭で、日常のできごとだと思います。

わたしたちは、大切な家族が、いつも平安で健やかであることを願います。子供たちを不安や恐れから解放し、平安を与える方法は、「わたしは、いつもあなたのことを覚えています、あなたとつながっています、あなたを忘れることは決してありません、というメッセージを伝えることです。

この4月から、大切なお子様を保育所や幼稚園にお預けになったり、学校に送り出したりするご家庭もあるかと思います。お子様と長い時間離れることは、親御さんにとっても不安であるかと思います。

わたしたち以上に、あなたのお子様のことを知っているお方がおられます。そのお方は、聖書に出て来る天のお父様（神様）です。このお方は、わたしたち一人一人を愛の御手をもって創造して下さり、あなたとあなたの大切なお子様を守ってくださるお方です。このお方は、決して、あなたとあなたのお子様を忘れることはありません。

聖書のことは

女が自分の乳飲み子を忘れるであろうか。母親が自分の産んだ子を憐れまないであろうか。たとえ、女たちが忘れようとも わたしがあなたを忘れることは決してない。

イザヤ書49章15節

石川三育保育園チャブレン 北睦夫（この4月より）

19年前、石川三育保育園の園長（2年間）。現在、二人の孫のおじい。